

# ふれあい

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局：大代地区公民館 ☎364-8442

## 大代地区流灯・花火大会

大代五区区长会 小野 菊郎

皆様には、日頃地区行事等に対し、何かとご協力賜り厚く御礼申し上げます。

大代地区恒例の、水難物故者供養及び地区内の平穏な生活を祈念し慰霊祭を実施いたしておりますが、今年も左記により開催いたします。皆様のご焼香を、心からお待ちいたしております。又、花火打ち上げも予定いたしておりますので、納涼のひと時を、ご家族お揃いでお過ごしください。ご案内申し上げます。

(記)

期日 平成十八年八月二十日(日)

荒天の場合、延期等について

防災拡声装置で放送案内いたします。

場所 橋本橋 西側たもと

時間

慰霊祭 午後六時三十分から

流灯 午後七時から

花火打ち上げ 午後七時から

終了 午後八時

(天候の関係で、流灯・花火打ち上げ時間を変更する場合があります)

ご祝儀 お見舞いは 三千円を限度にし お返し物はしないうようにお互い気を配りましょう

あいさつは心のふれあい 出会った人と あいさつしましょう



## 住宅火災警報器について

大代婦人防火クラブ

会長 後藤 重子

「今日は、婦人防火クラブです」

今、住宅火災警報器についての情報が流されております。当地区でも九月頃、消火器と同じように皆様のお役にたてればとただいま業者と交渉中です。今少しの時間を頂いて皆様のご要望に答えたいと思います。

また、悪質業者による訪問販売も行われているとのこと、皆様十分お気を付けて下さい。万一の時はお近くのクラブ役員に声をかけて下さい。

## 四つのおしえ

大代東区 本郷 新治

日本原子力発電会長の安川第五郎氏は八十余年の人生経験から、つぎのようなおしえを多くに強調しています。

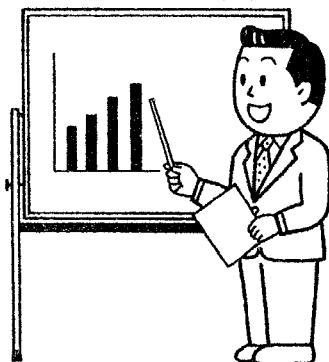
誠心誠意・仕事に対する心構えにしても、人に接するときにしても、これが第一です。とかく頭のいい知恵のある人や手腕家の中には、誠心誠意を欠く人が多いようですが、これを欠いては本当の仕事はできません。

協力精神・我々の仕事は個人プレイではなく、相手や同僚のある共同作業ですから、協力精神が絶対に必要です。その意味で、自分の立場ばかり考えずに、相手の立場に立つて考える心の余裕を持つようにしたいものです。

責任観念・共同作業の場合、一人一人がすべて責任を持つことが大事です。だれでもうまくいったときは自分の手柄にしたいし、失敗は他人のせいにした。しかし、部の業績が上がる部下の手柄にし、部の失敗は自分が背負うというようなタイプの部長のもとは、部下も上司をもち立てようと、フアイトを持って従ってくれるものです。

安易を望むな・人間だれでも苦勞するより楽をしたい。ところが苦しいことを避け楽に過ごそうとすることは将来マイナスになる。若いときの苦勞は、熱意と努力を持ってすれば必ずのりきれるものである。

他にもいろいろあるでしょうが、とくに四カ条はサラリーマン訓の最も基本となるものです。いかに機械化しようが、ヤングパワーの時代になろうが、この鉄則は変わりません。



## 選挙は必ず投票しましょう

明るい選挙推進委員

多賀城の未来を託すこの一票

八月六日(日)は多賀城市長選挙が行われます。大代地区の皆さん、あなたの一票が今後の多賀城市政を決める重要なものです。棄権して大切な一票を無駄にしないで投票しましょう。

今回の選挙には多数の候補者が各々の主張を訴えて頑張っています。この主義・主張をよく見て聞いて迷わず自分の判断で投票し明るい選挙を実現してください。

今まで大代地区の投票率は(北区投票所を除き)あまり良くありませんでした。これからはその汚名返上のため一人一人が投票の権利を行使して下さるようお願いいたします。

なぜ抑留なのか (四十五)

大代南 後藤 清一

雨音がうるさく早い目覚めとなった。ジメジメの天候にうんざり。早い梅雨明けが待たれます。明ければ夏本番の盛夏がくる。六十年も過去の日となった八月十五日の忌まわしい終戦記念日も間違いなくやってくる。大方の人達には遠く忘却の彼方へと消えた日であるが、敗戦を味わい酷い抑留生活を送った者には辛い歴史として忘れる事はできない。戦後六十年も経ち抑留体験者は若くても八十代と高齢化している。すでに亡くなっている方も少なくないが生還者、遺族は各地に存在している。

私はこれまで毎月私のシベリヤ回想で抑留生活の実態を戦争を知らない世代の人達に少しでも伝えるべく書いて参りました。幸い生還できた私の体験なんて小さなものだが、ご遺族の方達と墓参りに同行する度に未だ収骨もされず草むす屍でさまよい続ける多くの友に我が身を重ね合わせ深刻に考えてしまう。実に悲しい。この事実をしっかりと伝えてゆかなければ解つて貰えないと思います。我々がなぜ抑留されたのか、しかも三重苦の労働を強いられたのか、多くの友がなぜシベリヤの土になったのか、抑留体験者の遺族の方々の思いは疑問として当然残る。飢と寒さと重労働を必死に乗り越えやると帰国すればあいつ等は”アカ”と蔑

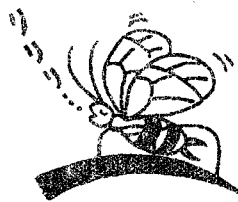
視され就職も容易ではなかったと嘆く者もいた。戦争がなければ、満州にいなかったら拉致もなかったと彼等の言分は本質をついている。

関東軍を中心とする在満日本人は降虜となった日本兵の大半はソ連領に連行されたのである。当時の元首スターリンにとって満州で簡単に入手でき頑健で家族のいない使い手のある、ただ働きの若者はソ連のシベリヤ開発の都合のよい労働力だったのだ。シベリヤの冬は満州以上で俺が収容されたウルガルは零下四十度は普通で、防寒着も貧弱で我々はこんな寒さには馴れていなかったために常に凍傷、凍死に怯えることになる。食事は最悪、しかも極少で栄養失調、加えてノルマは厳しく慣れない重労働に死者は日毎に増幅していった。入ソ当初、将校は兵に対して宮城遙拝、軍人勅諭の奉唱、当番兵なども強要し又食料のピンはねなど従来の特権に胡座をかいていた。又作業でノルマの達成できない者は夜集合をかけたピントの制裁も日常茶飯事であった。戦争が終わったのに何時までこんな事なんだ、必要ないと、兵達は民主化運動に立ち上がったのは当然のことだった。

今年も間もなく墓参りの季節が参ります。参加の申込みをしたが俺の希望地が催行可か否か心配である。私は今年で六度目となるが年毎に参加者が減

り催行が危い。我々も高齢化し遺族も世代交替と自然の流れか淋しく悲哀を感じます。

奥深い墓地を訪ね又来たよと語りかけ、草むす土饅頭に頼りずく時当時の面影が、鮮明に去来する。 続く



盆踊り予定

ふれあい広報部

平成十八年度の大代地区の盆踊りは次の通りです。

- 大代中区 七月二十九日(土) 場所 大代地区公民館体育室
- 大代東区 八月五日(土) 場所 石ヶ森第一公園
- 大代南区 八月五日(土) 場所 大和マンション前公園
- 大代北区 八月六日(日) 場所 大代公園北区広場

納涼と子供達の健やかな成長を願います。楽しい夏の思い出とするため多数のみなさまのご参加をお願いいたします。内容は各地区それぞれ盛り沢山用意されておりますのでお楽しみに。

ふれあい川柳

大代西 藤田 遊子

日本猿カンガルーに蹴飛ばされけり後任は「オシム」ことなくこの人にインサイダー地獄の沙汰は五億円書えてるテポドン二号は日本製総裁の椅子を放さぬ「ど素人」拉致家族を逆なでしたる茶番劇ジュン総理卒業旅行ナイアガラ一億円や六八にして世を去れりおちおちと魚釣り出来ぬ魚釣島一騎とうせん琵琶湖に笑う美人知事



ふれあい俳句

大代西 松浦 富男

黄泉へ歩む足腰梅雨の冷え老の身は婚葬なべてクールピズ庫裡の隅孤園を託つ竹婦人逆縁の悲しき葬の道おしえ真すぐに進めぬ道やねじれ花

笠神西 本郷 勝子

(山梨県小淵沢にて 五句)  
夏雲や白樺凜々し甲斐の山  
黄鶺やスロライフにて満喫す  
夏蝶や飽きない驚きクラス会  
ほろ酔やはかなき夢は梅雨の星  
古戦場武田の亡霊夏きこ